

日本橋ガイド



東京の起点 日本橋



すべてはここから始まりました。マンダリンオリエンタル東京のほど近くにある日本橋は、近代都市東京の金融と商業の中心地であるだけでなく、東京の始まりの地でもあるのです。将軍・徳川家康は、日本の首都を西から東へ移し、現在の東京となる新しい都市を築きました。

家康が最初に行ったのは、日本橋の建設です。遠くに富士山を望む象徴的な形をした日本橋は、1604年(慶長9年)、日本の中心、さらに各地を結ぶ五街道の起点に定められました(現在でも、7つの国道の起点となっています)。

この橋から、さまざまなものが始まりました。全国各地から、起業家の商人たちが集まり、街は急速に発展していきました。そのうち「江戸」として知られるようになり、運河のネットワークに囲まれた埋立地では新しいビジネス(呉服屋から海苔店まで)

が次々に生まれました。4世紀以上にわたり、進化を遂げてきた日本橋は、現在も当時の活気に負けていません。

近年では、何世代も続いている家系の老舗が、金融機関や歴史ある百貨店などの高層ビル群に寄り添うように並び、京都の街並みのような景観を作り出しています。

このガイドブックでは、日本橋で数世紀にわたって受け継がれてきた食べ物の専門店(食)、職人によって生み出されるすばらしい工芸品の数々(文化)、そして日本橋を訪れる人々におすすめのアクティビティ(体験)を紹介しています。

もちろん、日本橋そのものを忘れてはいけません。何世紀もの間、再建が繰り返され、その一部は高速道路に覆われてしまいましたが、東京の中心の誇り高き象徴として、現在もそこに建っているのです。

歴史

1603年(慶長8年)

徳川家康の指令により、木製の日本橋が建設される



1604年(慶長9年)

日本橋が、日本の五街道の起点に定められる。運河のネットワークが発達し、商人たちが商店や魚市場を開く



1896年(明治29年)

辰野金吾氏の設計により、ネオバロック様式の日本銀行本店が竣工



1911年(明治44年)

19回目の再建を機に、日本橋が石造りの橋になる



1914年(大正3年)

日本最古の百貨店「株式会社三越呉服店」(当時)が日本橋の本店新館(当時)をオープン



1929年(昭和4年)

三井家の総本部として、新古典様式の三井本館が完成



2005年(平成17年)

38階ロビーから壮大な眺めが広がる、日本の美しいデザインと自然の融合をテーマにしたマンダリンオリエンタル 東京が開業



2014年(平成26年)

福德神社が新社殿に遷座



食

食 01

えいたろうそうほんぼ 榮太樓總本舗

伝統菓子

日本橋魚河岸でお菓子の屋台売りでスタートし、1857年（安政4年）に現在の地に店を構えました。当時の味をいまでも伝統菓子として販売しています。餅を海苔で巻いた“日本橋餅”や、甘い小豆餡を小麦生地で包んだ、榮太樓總本舗を代表するお菓子“金鰐（きんつば）”などが愉しめます。



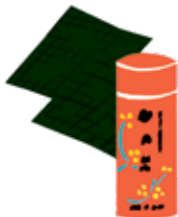
日本橋1-2-5/eitaro.com/
9:30~18:00/日曜・祝日休

食 02

山本海苔店

海苔

日本料理に欠かせない食材である海苔を、160年以上にわたり販売する海苔専門店です。オレンジ色の梅の花柄の缶に入った焼海苔から、ハローキティの缶に入った小さなスナック海苔まで、その品揃えは幅広く、海苔好きにとってはまさに夢のような場所です。デモンstrーションカウンターで、白い手袋をはめたスタッフが海苔を焼く様は必見です。

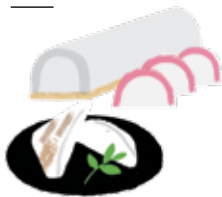


日本橋室町1-6-3/yamamoto-noriten.co.jp/9:30~18:00/
1日1休

食 03

にほんばしかんも 日本橋神茂

半ぺん



“手取り半ぺん”は、日本橋の有名なお馳走の一つです。1688年（元禄元年）から続く日本橋神茂の店内には、半ぺんや蒲鉾など季節により様々な商品が並びます。看板商品の半ぺんはふわふわの淡雪のような食感で軽く焼いて生姜醤油でいただくのがおすすめです。日本橋神茂では、半ぺんと蒲鉾の製造販売にこだわり、伝統を支えています。

日本橋室町1-11-8/hanpen.co.jp/月~金曜10:00~18:00、土曜10:00~17:00/日曜・祝日休

食 05

にんべん

かつお節とだし

COREDO室町1の中にあるにんべんですが、そのルーツは1699年(元禄12年)にまでさかのぼります。そして、日本で初めて“けずり節(かつお節)”のフレッシュパックを販売しました。店内ではスタッフがかつお節を巧みに削る様子を見ることができ、日本橋だし場ではテイクアウト用のカップに注がれた温かいだしを飲むことができます。



日本橋室町2-2-1 COREDO
室町1 1階/ninben.co.jp/
10:00~20:00/無休

食 06

日本橋千疋屋総本店

高級フルーツ



この店のフルーツほど完璧なフルーツは、世界中どこを探してもないのではないのでしょうか。日本橋に武蔵国埼玉郡千疋の郷の侍が、「水菓子安うり処」の看板を掲げ果物を商う店をかまえたのがはじまりです。1834年(天保5年)以来日本初の果物専門店として、国内はもとより世界のフルーツが店頭に並びます。

日本橋室町2-1-2 日本橋三井
タワー1階/sembikiya.co.jp/
10:00~19:00/無休

文化

文化 01

日本橋三越本店

百貨店

日本橋三越本店は、ルネッサンス様式の入口に2頭のライオンのブロンズ像が象徴的な、日本最古の百貨店です。もともとは17世紀から続く呉服店「越後屋」でしたが、小売業の大手へと進化していきました。三越の見どころは、日本でいちばん広い本館4階の呉服フロアと地下の食品フロアです。



日本橋室町1-4-1/mitsukoshi.mistore.jp/10:00~19:00/不定休(営業時間が変更になる場合あり)

文化 02

日本橋木屋

刃物

COREDO室町1の中にある、日本橋の逸品の一つにあがる老舗です。日本橋木屋では1792年(寛政4年)から、精巧な台所包丁を作り続けています。気さくなスタッフたちが、職人技の話や、包丁の用途別種類、使い方、手入れ方法などを、訪れる人々に丁寧に解説してくれます。銅の湯沸からおろし金まで、一般的な台所用品が販売されています。

日本橋室町2-2-1 COREDO
室町1 1階/kiya-hamono.co.jp
/10:00~20:00/無休

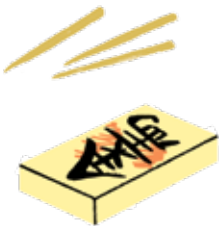


文化 04

日本橋さるや

楊枝

300年以上前から続く日本に現存する唯一の楊枝専門店です。日本橋の路地に佇む小さな店内には、古来より上等とされる黒文字という樹を使用し、1本ずつ手作業で作られる楊枝と、さまざま絵柄入りの楊枝の宝箱が並びます。



日本橋室町1-12-5/nihonbashi-saruya.co.jp/10:00~18:00/
日曜・祝日休

文化 05

ちくせん 笠仙

着物と織物

控えめな店構えと暖簾のみで、つい見逃してしまいそうな場所に、笠仙はあります。1842年(天保13年)に創立された笠仙は、フォーマルな絹の着物から、軽い木綿のゆかたまで取り扱う、東京で最も伝統のある着物メーカーの一つです。生地好きの方は、織物も購入できます。

日本橋小舟町2-3/chikusen.co.jp/9:00~17:00/土・日曜・祝日休



文化 06

いばせん 伊場仙

扇子



伊場仙が誕生したのは約400年前のこと。扇子作りに進化する前は、和紙と竹細工を取り扱っていました。現在は、丹精込めて手作りされた扇子で有名です。店内は、芸術的な扇子の数々で溢れ、扇子の親骨部分に持ち主の名前が彫れるなど、オーダーメイドの扇子も注文できます。マンダリン オリエンタル 東京のオリジナル扇子は伊場仙で詠えました。

日本橋小舟町4-1 伊場仙ビル
1階/ibasen.co.jp/10:00~
18:00/土・日曜・祝日休(4~8月
は土曜営業)

体験

体験01

小津和紙

手漉き和紙作り

小津和紙では、1653年(承応2年)から和紙を専門に扱ってきました。店内は、墨や書道用具と一緒に、カラフルな和紙などで溢れています。さらに和紙の史料館やギャラリー、そして手漉き和紙体験工房もあります。予約制の手漉き和紙体験では、完成した和紙を当日持ち帰ることができます。



日本橋本町3-6-2 小津本館
ビル/ozuwashi.net/10:00~
18:00/日曜休

体験02

江戸切子の店 はなしょう 華硝

江戸切子

江戸切子とは江戸時代末期に江戸で始まった伝統的ガラス工芸です。白いギャラリースタイルの上品な空間には、カラフルで伝統的な紋様と、それをさらに発展させたオリジナルの紋様を施したガラスや器が並びます。自分だけのぐい飲みを彫って持ち帰ることができるワークショップも開催しています。



日本橋本町3-6-5/edokiriko.co.jp/火~金曜10:30~18:00、土~日曜11:30~17:00/月曜休

体験03

鮭心 by 宮川 マンダリン オリエンタル 東京 江戸前鮭



マンダリン オリエンタル 東京の38階にある「鮭心by宮川」は、ミシュラン3つ星を獲得した北海道の名店「すし宮川」が東京に初出店するレストランです。壁一面に広がる窓から東京の絶景を望める店内は、握り手と檜のカウンター越しに対面できる9席限定。北海道と東京・豊洲市場から毎日仕入れる最高級の魚介類を使用して握る江戸前鮭をお楽しみください。

マンダリン オリエンタル 東京
38階/12:00~、18:00~、20:00~
予約制/無休(時期により、定休日が入る場合あり)

体験05

すいもうかい
吹毛会

居合

吹毛会では、無外流居合・剣術（剣法）を主とした古武術の見学や体験をすることができます。道場では、袴のつけ方から、礼法、刀の振り方まで初心者の方でも安心して稽古にご参加いただけます。

日本橋本町1-3-2 本町ビル5階
/iai.gr.jp/要予約



体験06

ザ・スパ・アット・
マンダリン・
オリエンタル・東京

スパ&ウェルネス



五街道の起点である日本橋をコンセプトに、松、竹、梅、緑茶、米ぬかの5つの素材を用いて、5感の旅を提供するトリートメント『トータルリーキーョー 日本橋から“5”の旅へ』を楽しむことができます。東京の大パノラマを望みながら受ける20～30分のトリートメント『スパスタジオ by マンダリンオリエンタル 東京』もおすすめです。

マンダリン オリエンタル 東京
37階/9:00～22:00/無休

豆知識

コンシェルジュより

01

日本のシンボルである「日本橋」は、五街道の起点となったことから「日本の橋」という意味も持ち合わせています。また、最初に架けられた橋が2本の木（丸太）で作られたことから、という説もあります。

02

日本橋エリアには、「メトロリンク日本橋」と呼ばれる無料の巡回バスが走っています。この地域のレストランで使用した調理用油が、バスを動かす原動力の一部として使われています。

03

日本銀行本店を当ホテルの上から見ると、「円」という漢字に似ています。1896年に建てられた当時は、

「圓」という漢字が使われていたため、これは偶然の一致と云われています。

04

にんべんは、1830年に世界でも初めてと思われる銀製の商品券を創案し流通させたと云われています。

05

水辺から街を眺めるには、江戸初期の行商の足跡をたどる、日本橋から隅田川までの60分のボートツアーがおすすめです。

06

日本橋三越本店は、日本で初めて「エスカレーター」の導入、そして「お子様ランチ」の提供を始めました。

07

1965年に、山本海苔店が日本で初めて「ドライブスルー」システムを導入し、かつては

お客様は車に乗ったまま海苔を買うことができました。

08

三井本館と日本橋三越本店の間の道「江戸桜通り」は、歌川広重の浮世絵に描かれており、かつては通りから富士山を望むことができました。

09

当ホテル37階のマンダリンバーでは、澄んだ青緑色で日本橋川と柳の木を、ライムの皮で日本橋を表現した“日本橋カクテル”を愉しむことができます。

10

日本橋再生計画を手がけるなど、日本橋の無数の開発の背景に、三井不動産があります。三井不動産のルーツは、三越本店と同様に1673年創業の呉服店・越後屋です。

コミュニテイ



日本橋は橋だけでなく、その街の歴史や富士山を望む景色も有名ですが、おそらく最も重要な特徴といえば、目には見えない何か。つまり、繁栄する共同体意識でしょう。400年前に起業家の商人たちが日本橋に集まってきた最も初期の頃から、共同体は仕事だけでなく遊びの場でも培われてきました。絵草紙と呼ばれる絵本や木版画の浮世絵のように、歌舞伎座と浄瑠璃人形劇が初期の日本橋で活気づいたのは、偶然ではないでしょう。

今日、現代的な都市の中心という立地にも関わらず、大手デパート会社から、小さな喫茶店のオーナーまで、その共同体意識はしっかりと育まれています。

無数のコラボレーション(たとえば菓子店が近くの海苔店と一緒に商品を作るのはめずらしいことではありません)に加えて、

一年に一度、老いも若きも住民が集まって、街のシンボルである橋を洗う「名橋日本橋洗い」に反映されるように、その誇り高い意識こそが財産です。

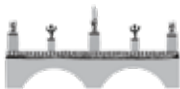
さらに、軽快な踊りと太鼓の音色が響く10月の「日本橋・京橋まつり」から、桜の開花とともに開催される春の祭りまで、日本橋にはさまざまな祭りがあります。



日本橋の ランドマーク

日本橋*

高速道路の下にある有名な石橋で、神話の中の生き物である麒麟像が飾られています。



日本国道路元標

橋の下の道路の中央に埋め込まれている金属プレートで、現在も日本の道路の原点としての役割を担っています。(日本橋のたもとに、日本国道路元標のレプリカがあります)。



富士山

これまで無数の木版画に刻まれてきた、日本橋からの富士山の眺めは不滅です。晴れた日には、当ホテルから眺めることができます。



福德神社

日本橋の摩天楼の間に鎮座する、1000年以上前からの聖地を見事に復元した神社です。



三井本館*

三井財閥の本拠地として建設された石造りの一大建築物です。7階には、三井記念美術館があります。



日本銀行本店*

現在の本店の敷地は、歴史上貨幣に縁の深い土地で、江戸時代に“金座”があった場所です。



日本橋三越本店*

日本最古の百貨店の玄関に設置されたライオン像は、ロンドンのトラファルガー広場にあるライオン像がモデルとなっています。



日本橋高島屋S.C.*

歴史ある日本橋の百貨店で、そのルーツは1831年、京都の呉服屋から始まりました。(本館が重要文化財)





食 01

榮太樓總本舗

伝統菓子

食 02

山本海苔店

海苔

食 03

日本橋神茂

半ぺん

食 05

にんべん

かつお節とだし

食 06

日本橋千疋屋総本店

高級フルーツ

文化 01

日本橋三越本店

百貨店

文化 02

日本橋木屋

刃物

文化 04

日本橋さるや

楊枝

文化 05

笠仙

着物と織物

文化 06

伊場仙

扇子

体験 01

小津和紙

手漉き和紙作り

体験 02

江戸切子の店 華硝

江戸切子

体験 03

鮭 心 by 宮川

マンダリン オリエンタル 東京

江戸前鮭

体験 05

吹毛会

居合

体験 06

ザ・スパ・アット・マン

ダリン・

オリエンタル・東京

スパ&ウェルネス





MANDARIN ORIENTAL
TOKYO



Facebook
Mandarin Oriental, Tokyo



Instagram
mo_tokyo



Twitter
mo_tokyo



Tripadvisor

マンダリン オリエンタル 東京
〒103-8328 東京都中央区日本橋室町2-1-1
TEL 03-3270-8800
mandarinoriental.com
制作協力/株式会社スパート

2019.10